

# 都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所  
社会健康医学研究センター

# 東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (5月22日までのデータ分析：要点)

## 【直近の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口（18-24時）：直近1週間は小幅な増加にとどまり（前週比：2.1%増）、連休前の水準を依然下回っている。ただし、深夜帯の滞留人口（22-24時）についてはすでに連休前の水準に到達している。
- 昼間滞留人口：直近1週間で小幅ながら減少（前週比：2.9%減）。引き続き、連休前よりも低い水準を維持。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：前週より世代別占有率は、全ての時間帯・年齢層で横ばい。実数も前週よりほぼ横ばいで推移。引き続き、中高年層の占有率が高い。

# 時間帯別主要繁華街滞留人口の推移：東京（2020年3月7日～2022年5月21日）

繁華街  
滞留  
人口  
(人)

5000000

4500000

4000000

3500000

3000000

2500000

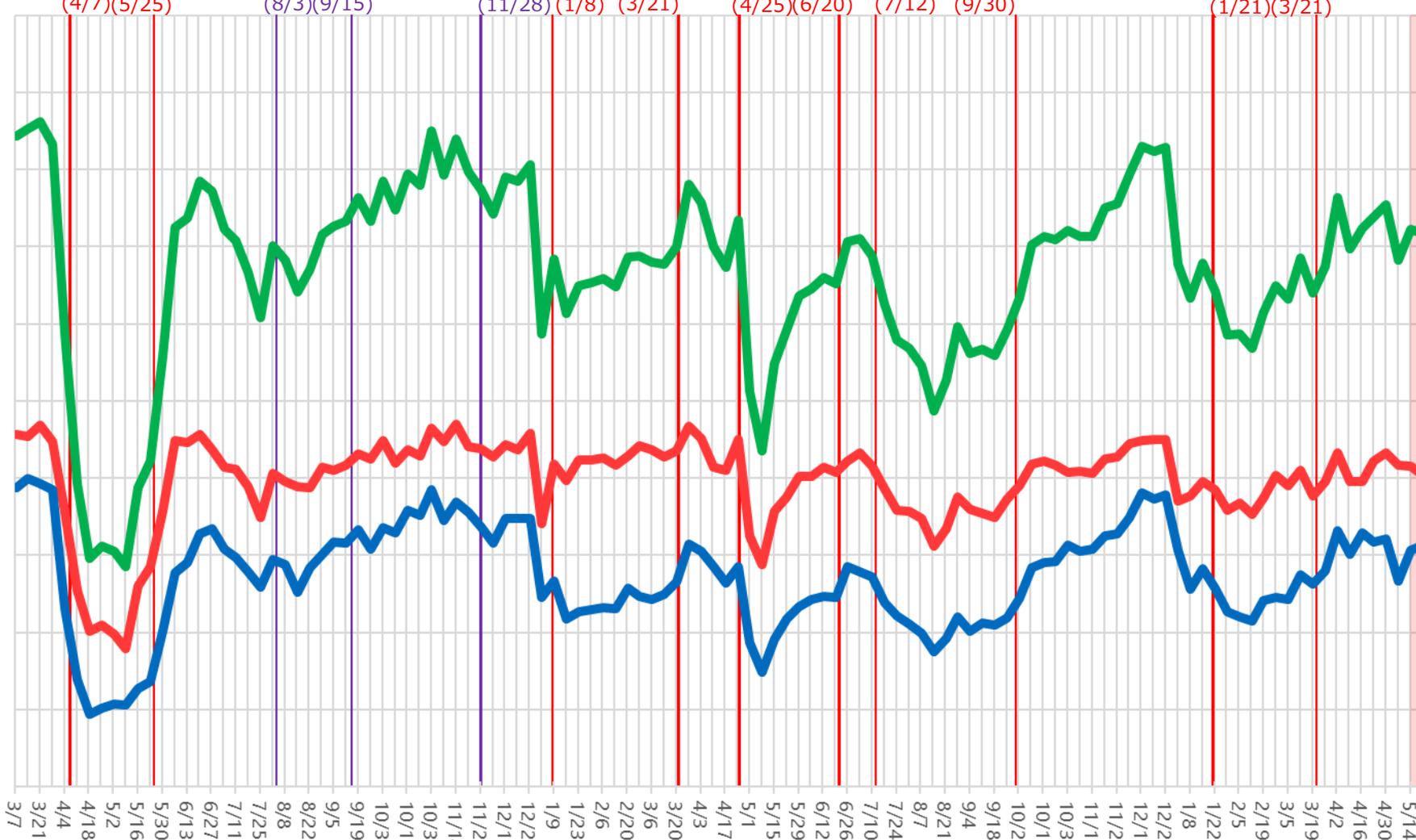
2000000

1500000

1000000

500000

0



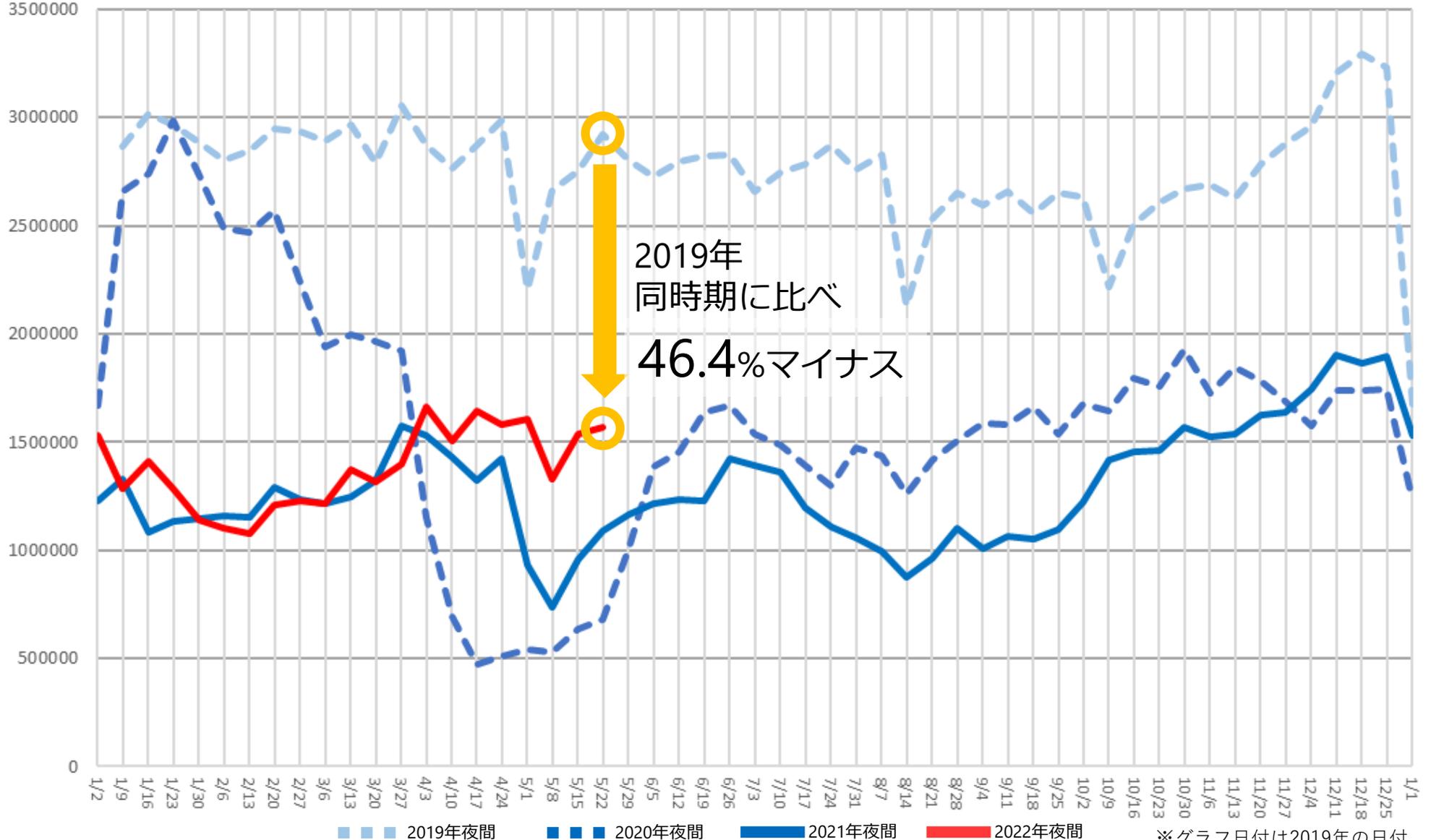
滞留人口12-24時 滞留人口12-18時 滞留人口18-24時

※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

# 繁華街夜間滞留人口（18-24時）東京：2019年以降の推移（2019年1月6日～2022年5月21日）

繁華街  
滞留人口  
(人)



※グラフ日付は2019年の日付

※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

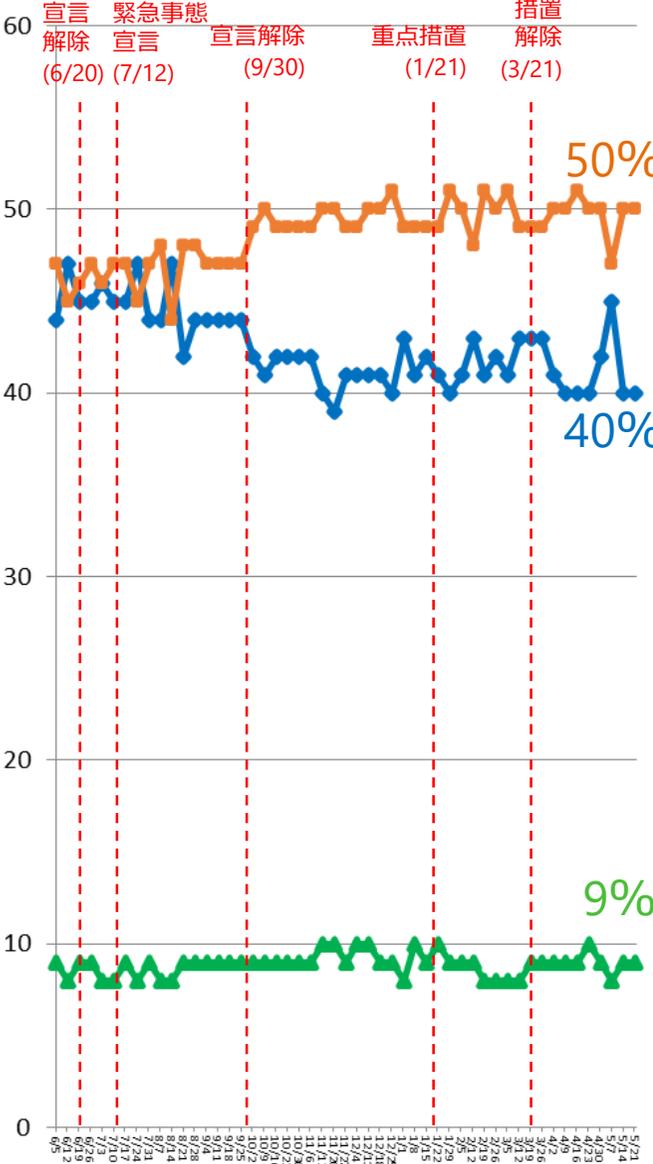
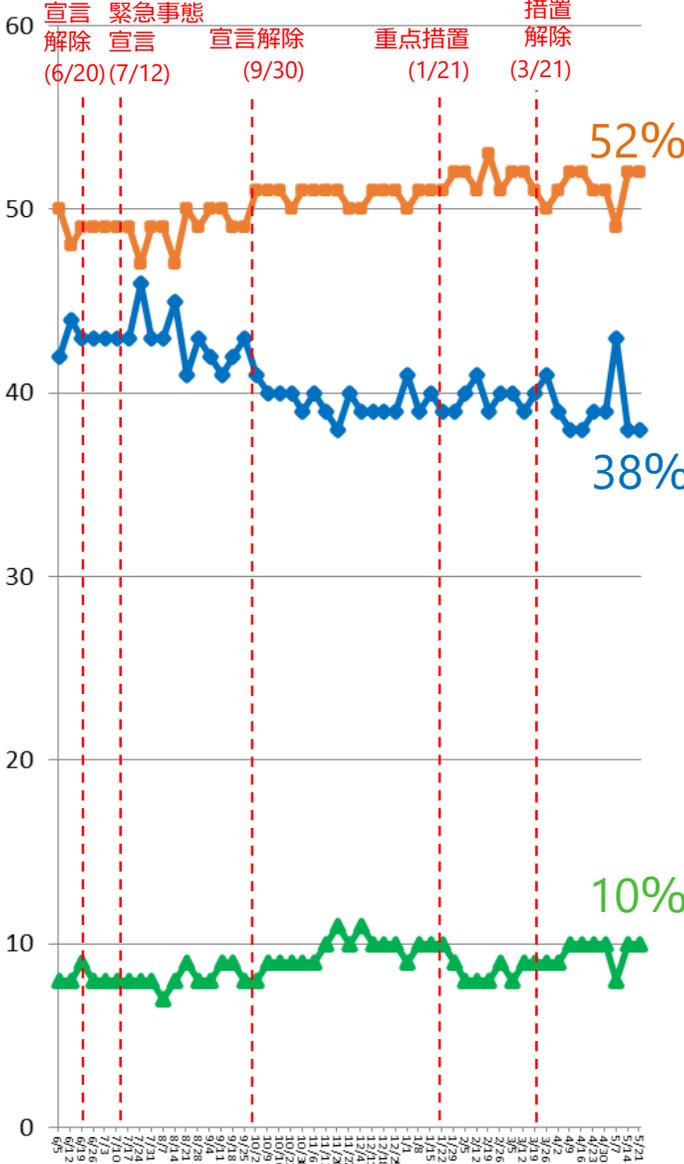
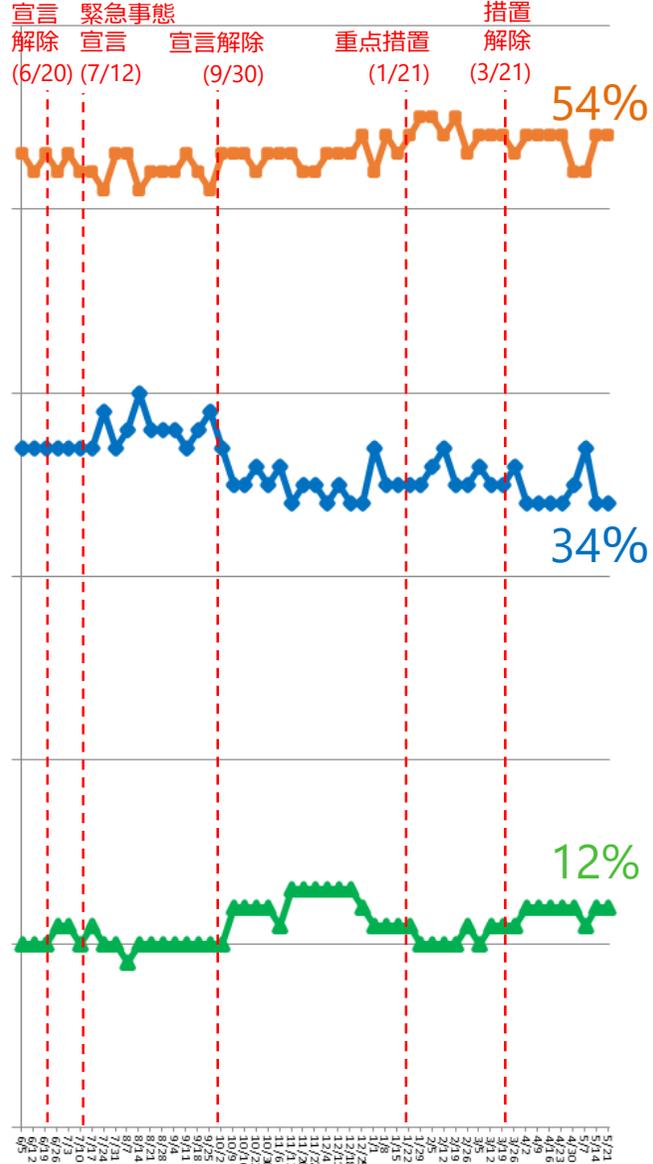
LocationMind xPop © LocationMind Inc.

# 都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率 (2021年6月1日～2022年5月21日)

## 18時～20時

## 20～22時

## 22～24時



# 年齢別夜間滞留人口推移 (22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年5月21日)

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷  
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

繁華街  
夜間滞留  
人口 (人)

3府県都  
重点措置  
都解除  
(3/21)

重点措置  
(4/5)

重点措置  
(4/12)

緊急  
事態  
宣言  
(4/25)

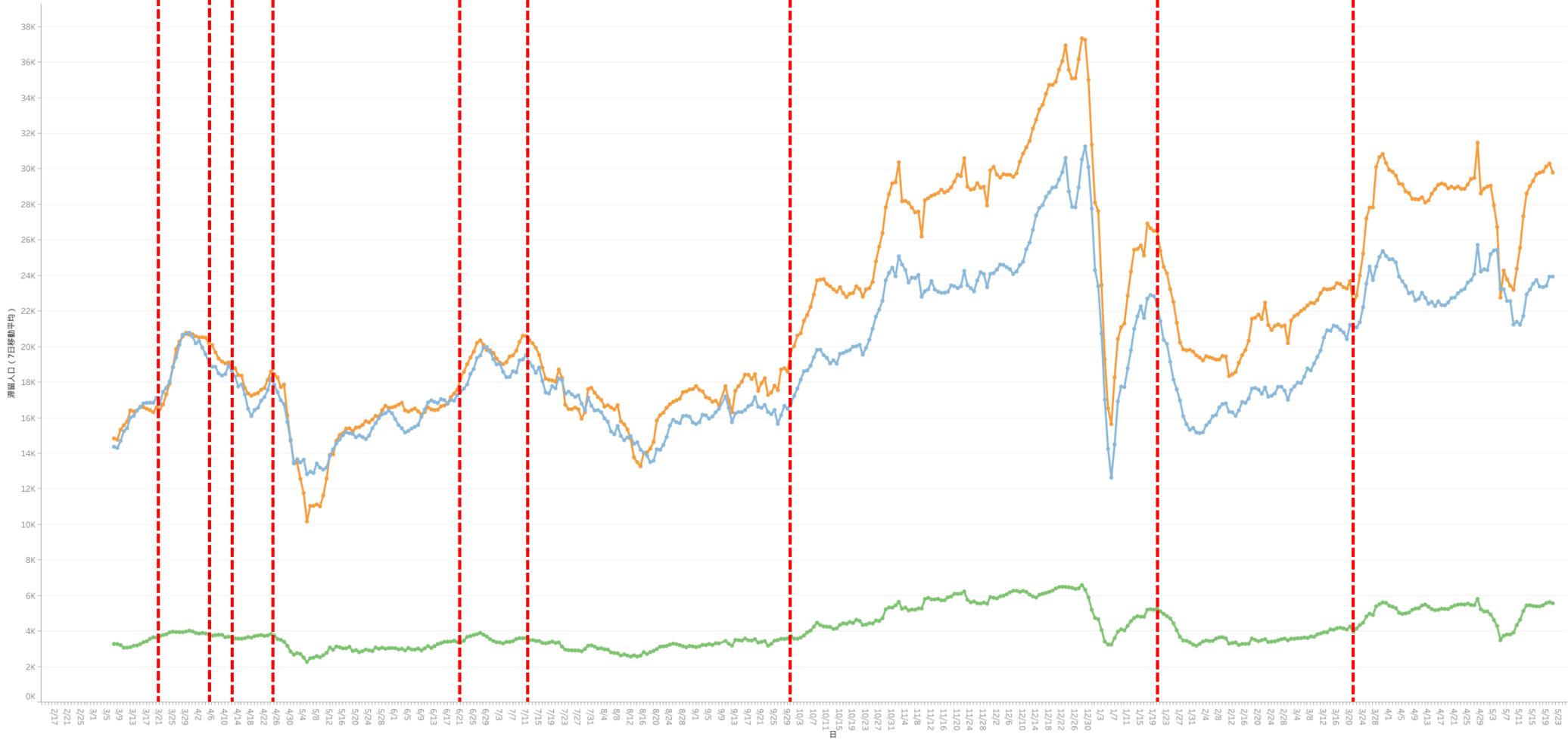
重点  
措置  
(6/21)

緊急  
事態  
宣言  
(7/12)

緊急事態  
宣言解除  
(9/30)

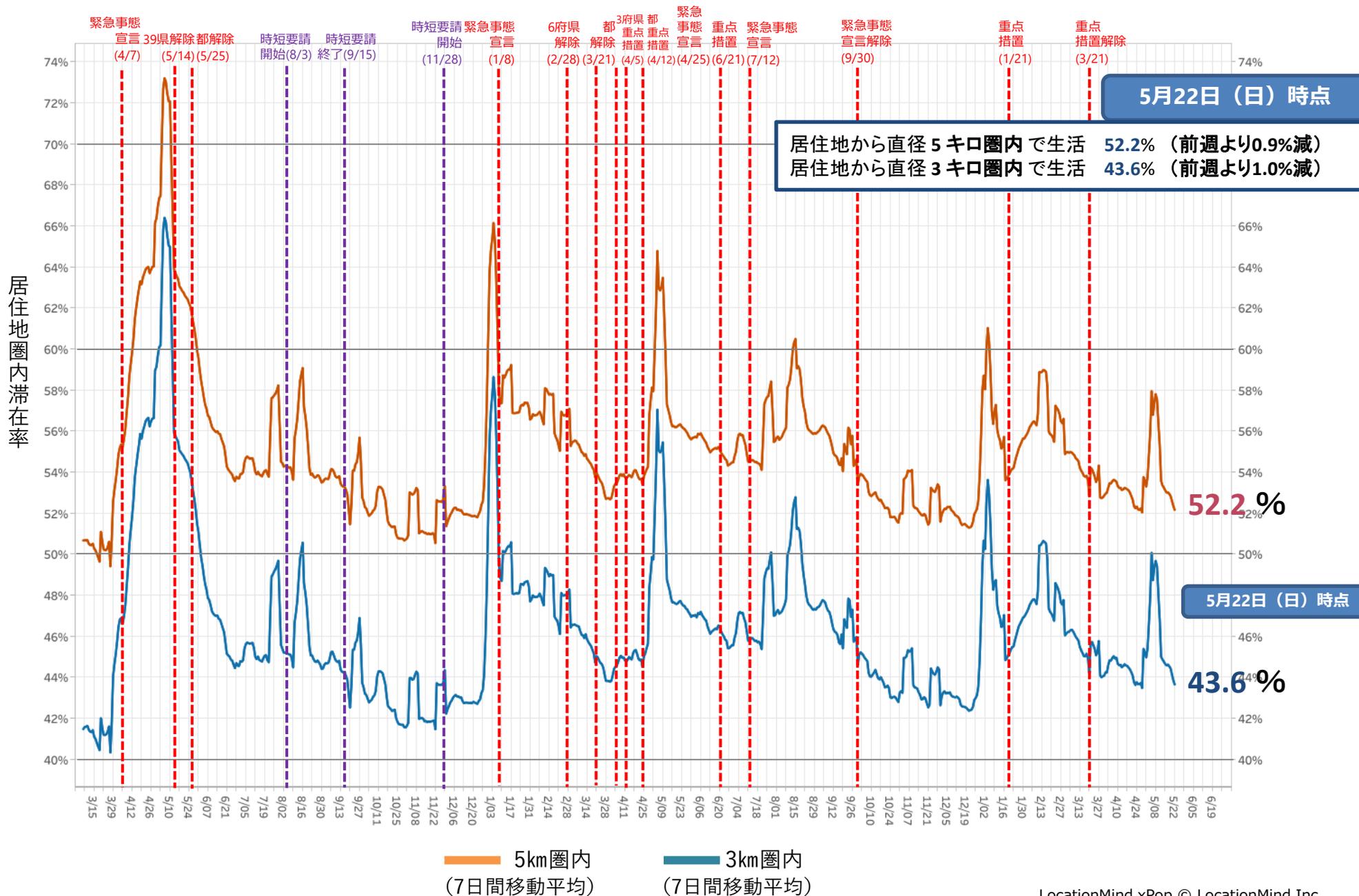
重点  
措置  
(1/21)

重点  
措置解除  
(3/21)



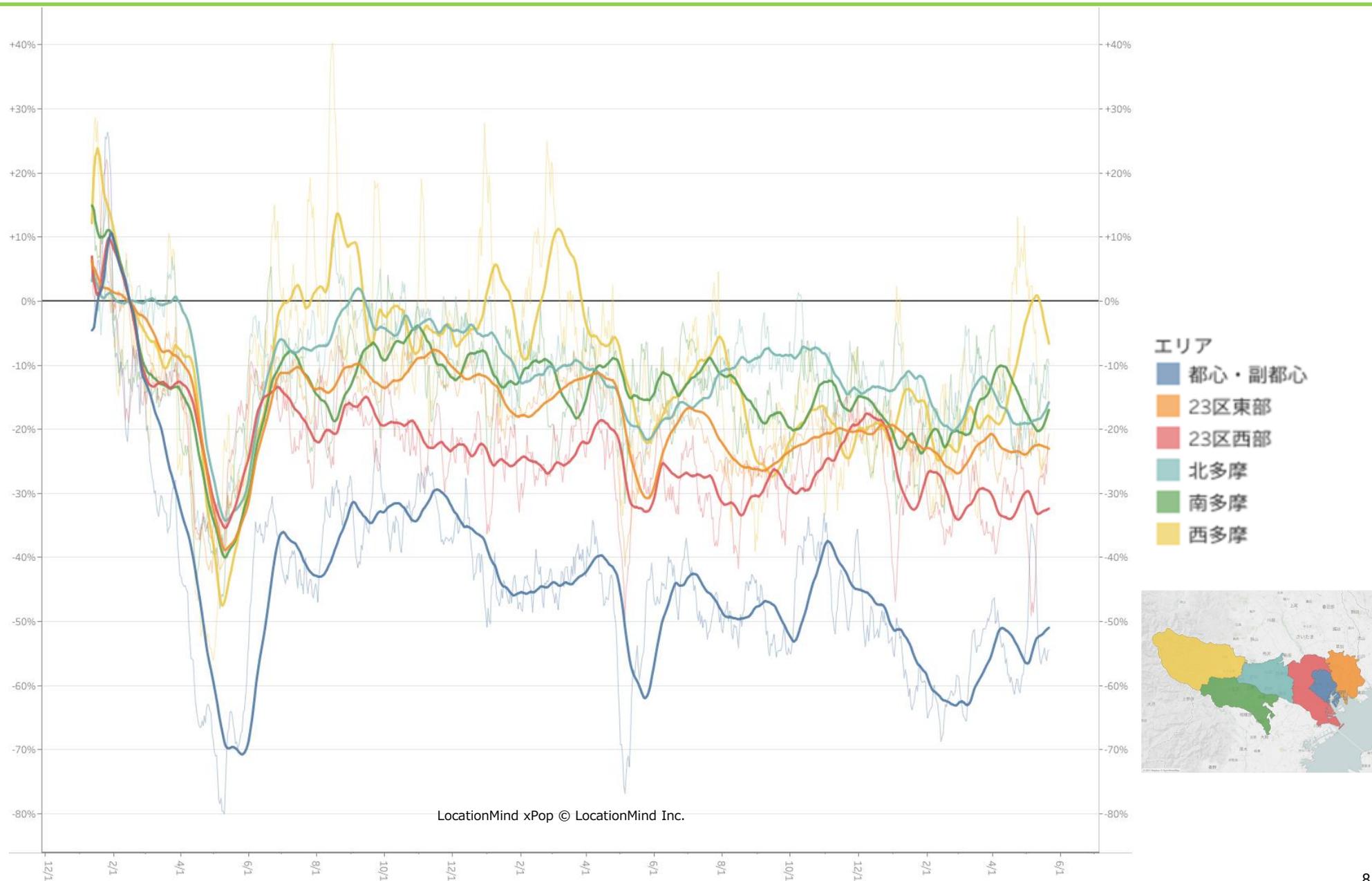
15～39歳    40～64歳    65歳以上

# ステイホーム指標（2020年3月1日～2022年5月22日）：東京都内全域



# 都内大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口推移

地域別：2020.1.12-2022.5.21：10-19時（モニタリング対象28施設）



# ハイリスクな時間帯の繁華街滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で**

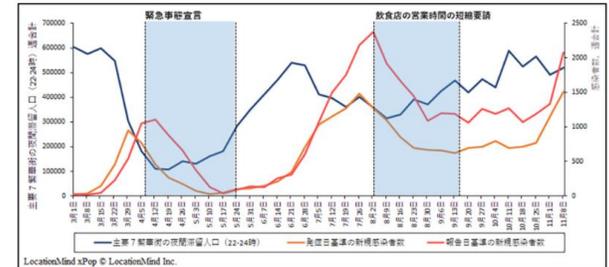
**移動・滞留したデータを抽出 ※**

- ハイリスクな時間帯の滞留人口量を  
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)

- LocationMind ⇒ 都医学研

- 夜間滞留人口データとその後の

**新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている ※※**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021